

平成 19 年度食科協ワークショップ

食の安全確保と国際協調－国際食品規格の設定と普及に向けたわが国の取組み－

趣旨

わが国における食品の安全確保対策を一層推進するにあたり、食品規格及び表示基準の充実・強化及び国際的整合性は不可欠です。特に、輸入食品への依存率が高いわが国にとってはコーデックス委員会での積極的な取組みがますます重要となります。そのためには、官民一体となつての協力体制を強化する必要がありますので、その方策等について幅広く協議するため、次のプログラムによるワークショップを企画しました。

当日は多くの会員、食品の製造業者、輸入業者、流通業者、小売業者等の方々に参加頂き盛況でした。

記

1. 日時 平成 20 年 02 月 04 日(月) 13 時 ~17 時
2. 場所 日本食品衛生センター ((社)日本食品衛生協会) 5 階講堂
3. プログラム

開会あいさつ 林 裕造理事長(NPO 法人食科協理事長)

コーディネーター 石井健二理事長(NPO 法人食科協常任理事)

講演会

(1) コーデックスとは

厚生労働省医薬食品局食品安全部 企画情報課国際食品室 福島和子

(2) コーデックス規格設定のための協力等のあり方について

国立医薬品食品衛生研究所 豊福 肇

(3) コーデックス規格設定のための協力等の現状

添加物部会 日本食品添加物協会 平川 忠

食品表示部会、栄養・特殊用途食品部会(特非) 国際生命科学研究機構 浜野弘昭

栄養・特殊用途食品部会 国際酪農連盟日本国内委員会 土田 博

コーデックス総会ほか サントリー(株)品質保証本部 岩田修二

消費者からの要望等 主婦連合会 和田正江

休憩

意見交換会

パネリスト

厚生労働省食品安全部国際食品室 福島和子

国立医薬品食品衛生研究所 豊福 肇

日本食品添加物協会 平川 忠

特非) 国際生命科学研究機構 浜野弘昭

国際酪農連盟日本国内委員会 土田 博

サントリー株式会社 岩田修二

主婦連合会 和田正江

閉会

